

氏名	宮内 貴久 MIYAUCHI Takahisa
所属 職名	人間文化創成科学研究科文化科学系 准教授
学位	博士（文学）（2003年 筑波大学）
専門分野	民俗学、文化人類学
URL	
E-mail	miyauchi.takahisa@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

家相
風水
大工
三輪神道
建築儀礼

主要業績

宮内貴久 2010 「生活感なき衣食住研究」『日本民俗学』第262号

宮内貴久 2011 「風水ブーム再考」『比較日本学研究センター研究年報』第7号

研究内容 / Research Pursuits

三輪神道系統の大工儀礼書の所在調査を全国的に行った。和歌山県和歌山市の丹生家文書、秋田県秋田市立図書館蔵文書が発見された。丹生家文書は幕末の文書で上棟式以外にも遷座関連の文書など複数の文書が存在し、実際に儀礼で使用されたと推定される。また、秋田市立図書館蔵文書は『番匠秘書』と題されていた。三輪神道の建築儀礼だけでなく、「地判」「四神相応地」「屋敷二十二相図」など陰陽道書の『簠簋内伝』造屋編の内容が含まれており、近世の大工が必要とされた知識の一端を明らかにする事ができた。呪い歌では「霜柱氷の梁に雪の桁雨の垂木に露の葺き草」が火伏せの歌として全国的に分布している。大工儀礼書にも記されており、先述した文書にも記されている。長野県長野市の文書に、上棟式の祝詞に同歌が記されており、大工儀礼書に記された歌が、実際に上棟式という儀礼の場で歌われた事が確認された。このことにより、同歌が口頭で伝承されただけでなく、文字によっても伝承されていた事が明らかになった。



教育内容 / Educational Pursuits



研究計画



メッセージ

大学はキャンパスで学ぶだけでなく、図書館や美術館・博物館といった学外の施設、さらにはフィールドワークにより広く学ぶところです。私は機会があるごとに学生を連れて色々なところに出かけています。三年間続けて八王子市の八王子祭りで使用される山車の調査を行っています。聞き書き調査だけでなく、祭礼当日に山車を実際に曳くなど参与観察も行っています。お茶大に入って色々なところを訪れて学びましょう。